

第10章 事業収支計画

1 概算事業費

(1) 事業費の考え方

新病院の建設に係る概算事業費は約247億円を見込みます。

- ・建設工事費は、直近の同規模自治体立病院の平均建設単価に、延べ床面積を乗じて算出します。

(2) 概算事業費

事業費区分	費用	備考
土地関連費	約 1.1 億円	敷地内水路付け替え、地質調査費、測量費等
設計・監理費	約 4.3 億円	基本・実施設計費、工事監理費等
建設工事費	約 199.0 億円	本体建設工事費、外構工事費、解体費 軟弱地盤対策費等
設備整備費	約 40.8 億円	医療機器・什器・備品費、ネットワーク工 事等（医療機器移設費含む。）
その他の経費	約 1.8 億円	移転費用及び患者移送費、新病院運用計画 策定費等
計	約 247.0 億円	

※延べ床面積や建設単価は、基本設計、実施設計の各段階において、具体的な検討を進める中で、増減する可能性があります。引き続き事業費の精査に努めていきます。

(3) 財源内訳

事業費内訳	事業費	備考
企業債 (病院事業債)	約 169.0 億円	建設工事、医療機器整備、実施設計等の費用に対し、病院事業会計において借入れを行う地方債の金額。
一般会計繰出金 (合併特例債分)	約 55.6 億円	市が借り入れる合併特例債を財源として、病院事業会計に繰り出す金額。
一般会計繰出金 (現金)	約 11.2 億円	解体費、外構工事費、移転費用等の経費の1/2を市の一般会計から病院事業会計へ繰り出す金額。
病院事業会計 (現金)	約 11.2 億円	解体費、外構工事費、移転費用等の経費について、病院事業会計で負担する金額。
計	約 247.0 億円	

2 事業収支シミュレーション

新病院開院後の病院経営の見通しについて、一定の設定条件に基づき試算を行いました。

(1) シミュレーションにおける設定条件

ア 医業収益

(ア) 入院診療単価

- ・開院時（平成32年度）：54,500円
- ・平成38年度まで段階的に増額し、平成38年度以降は55,500円
（参考：平成26年度実績：52,156円）

(イ) 外来診療単価

- ・開院時（平成32年度）：16,500円
- ・平成38年度まで段階的に増額し、平成38年度以降は18,000円
（参考：平成26年度実績：16,117円）

(ウ) 1日平均入院患者数

- ・一般病床※：345人
- ・回復期リハビリテーション病床：34人

※結核病床及び感染症病床を除く。

(エ) 1日平均外来患者数

- ・1,050人
（参考：平成26年度実績：1,038人）

イ 医業費用

(ア) 職員給与費

- ・新病院の病床数や医療機能に応じた職員数を基に、職種別の給与単価を用いて算定します。

(イ) 材料費

- ・平成26年度の実績を基に医業収益との比率を用いて算定します。

(ウ) その他費用

- ・平成26年度の実績を基に算定します。
- ・平成32年度は本館及び東館の解体撤去に係る費用を特別損失として計上します。

ウ その他

- ・平成29年度から消費税が10%となることを見込みます。
- ・看護専門学校の運営に係る収支は除きます。

(2) 収支シミュレーションの概要

(1) の設定条件に基づき、開院後の事業収支シミュレーションを行いました。

経常利益は、平成38年度までは、新病院開院時において集中的に整備する医療機器の減価償却費（平成33年度～平成37年度）や企業債の支払利息の増加（平成32年度以降）により赤字となりますが、平成39年度以降は、黒字に転じる見込みです。

損益計算書

単位：百万円

	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度
I 病院事業収益 (a)	13,116	12,776	12,863	12,971	13,057	13,112	13,193	13,209	13,204	13,182
1 医業収益 (b)	11,828	12,039	12,128	12,237	12,324	12,382	12,467	12,487	12,486	12,467
2 医業外収益 (c)	765	737	735	734	733	730	726	722	718	714
3 特別利益	523	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II 病院事業費用 (d)	15,650	13,734	13,800	13,870	13,915	13,923	13,317	13,169	13,148	13,153
1 医業費用 (e)	11,674	12,635	12,718	12,788	12,850	12,865	12,344	12,213	12,208	12,223
2 医業外費用 (f)	892	1,099	1,082	1,083	1,065	1,058	973	955	940	930
3 特別損失	3,084	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医業利益 b - e	154	△ 596	△ 590	△ 551	△ 526	△ 483	123	274	278	244
経常利益 b + c - e - f	27	△ 958	△ 937	△ 899	△ 858	△ 810	△ 124	41	56	29
当年度純利益 a - d	△ 2,534	△ 958	△ 937	△ 899	△ 858	△ 810	△ 124	41	56	29

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	116	798	835	894	941	978	1,007	1,046	1,053	1,053
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,634	△ 634	△ 475	△ 316	△ 200	△ 235	△ 250	△ 450	△ 450	△ 265
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	6,132	338	△ 98	△ 338	△ 610	△ 764	△ 406	△ 104	△ 76	△ 292
資金増減額	△ 386	503	262	241	131	△ 21	351	492	527	495
資金期末残高	5,319	5,822	6,084	6,325	6,456	6,434	6,786	7,278	7,806	8,301

※収支シミュレーションは、現時点における設定条件に基づき算定してあります。